

BEST AVAILABLE COPY

[Reference 5]

Japanese Utility Model Application No. 58-121364 (Japanese Utility Model Laid-open Disclosure No. 60-30718)

Disclosure Date: March 1, 1985

Applicant: Kose

Title of Invention: Cartridge Body for Liquid Cosmetics

As shown in Figure 1, a cartridge body 1 is for storing liquid cosmetics 2. It comprises a container 3, a filling outlet 4 formed in the container, a closure 5 for closing the outlet 4, a resilient cover 6 attached to the container in a liquid tight manner, and a resilient impregnating body 7 containing the liquid cosmetics 2.

In the resilient cover 6, liquid path portions 9 are formed in the area in contact with the resilient impregnating body 7.

公開実用 昭和60—30718

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑥ 実用新案出願公開

⑦ 公開実用新案公報(U)

昭60-30718

⑧ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 昭和60年(1985)3月1日

A 45 D 34/04

6671-3B

B 65 D 47/20

8208-3E

// A 45 D 33/28

6671-3B

審査請求 未請求 (全 頁)

⑩ 考案の名称 液状化粧料用カートリッジ体

⑪ 実 願 昭58-121364

⑫ 出 願 昭58(1983)8月5日

⑬ 考 案 者 多 比 羅 春 代 東京都中央区日本橋3丁目6番2号 株式会社小林コーセー内

⑭ 考 案 者 堀 富 士 雄 東京都中央区日本橋3丁目6番2号 株式会社小林コーセー内

⑮ 出 願 人 株式会社 小林コーセー 東京都中央区日本橋3丁目6番2号



明 細 書

1. 考 案 の 名 称

液 状 化 粧 料 用 カ ー ト リ ッ ジ 体

2. 実 用 新 案 登 録 請 求 の 範 囲

液 状 化 粧 料 を 容 入 す る 容 体 と、該 容 体 に 形 設 し た 充 填 口 と、該 充 填 口 を 閉 塞 す る 閉 塞 具 と、前 記 容 体 内 に 収 容 さ れ、か つ 液 状 化 粧 料 を 含 浸 す る 弾 性 含 浸 体 と、前 記 容 体 を 密 封 す る と と も に、前 記 弾 性 含 浸 体 と 当 接 す る 部 位 に 通 液 部 を 形 設 し た 弾 性 蓋 体 と か ら 構 成 さ れ る 液 状 化 粧 料 用 カ ー ト リ ッ ジ 体。

3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

本 考 案 は、化 粧 水・乳 液・美 容 液・液 状 フ ァ ン デ ー シ ョ ン 等 の 液 状 化 粧 料 容 器 の 改 良 に 関 し、そ の 意 図 す る と ころ は、本 考 案 を 利 用 し 携 帯 性、使 用 性 に 富 ん だ 容 器 を 提 供 せ ん と す る も の で あ る。

従 来、液 状 化 粧 料 の 容 器 形 態 と し て は、キ ャ ッ プ に よ り 密 封 し た 壺 体 も し く は チ ュ ー ブ 体 が そ の 殆 ど で あ っ た。そ れ 故、消 費 者 が 液 状 化 粧 料 を 使



用する場合、いちいちキャップを外さなければならず、しかも外したキャップをともしれば紛失したりすることがあり、この点の改善が切望されていた。加うるに、通常の壺体、キャップ体にあつては、形状的に新味に乏しく、消費者の多様な嗜好に答えるには不充分であつた。

本考案者らは係る点に鑑み、従来製品に類を見ない斬新な形態と優れた携帯性、使用性を有する容器を得んとして鋭意検討の結果、本考案を完成するに至つた。すなわち、本考案は、液状化粧料を容入する容体と、該容体に形設した充填口と、該充填口を閉塞する閉塞具と、前記容体内に収納され、かつ液状化粧料を含浸する弾性含浸体と、前記容体を密封するとともに、前記弾性含浸体と当接する部位に通液部を形設した弾性蓋体とから構成される液状化粧料用カートリッジ体である。該液状化粧料用カートリッジ体を収容体中に交換可能に収容すれば斬新な液状化粧料容器が得られるのである。

以下、図面に基づき本考案を説明する。



第 1 図に示す如く、1 は液状化粧料 2 を容入する液状化粧料用カートリッジ体であって、容体 3 と、該容体 3 に形設した充填口 4 と、該充填口 4 を閉塞する閉塞具 5 と、前記容体 3 に対し密封可能に被着される弾性蓋体 6 と、液状化粧料を含浸する弾性含浸体 7 とから構成されている。閉塞具 5 は別体に形成しても良いが、ヒンジ部 8 を介して弾性蓋体 6 と一体に成型すれば、作業性が向上し好都合である。容体 3 を弾性蓋体 6 により封止する手段としては、嵌合方法等適宜選定すれば良く、その手段は問わない。弾性含浸体 7 は、液状化粧料 2 を容易に吸収・含浸し得る材質、例えば発泡ウレタンスポンジ等で成型することが好ましい。容体 3 の内底面は中央が若干低くなる如く傾斜させてあり、消費されて残存量が少なくなった液状化粧料が悉く弾性含浸体 7 に吸収・含浸されるようにしてある。また、弾性蓋体 6 の弾性含浸体 7 と当接する部位には通液部 9 が切設してある。該通液部 9 の形状としては、切割線状、複数の小孔等その如何を問わないが、使用し易さを考



慮すれば、分割線上とするとよい。さらに、該通液部9の表面を合成樹脂フィルム12で封止することにより不正使用の防止および液状化粧料の輸送時に於ける漏出等を防止する事が可能となる。

10は容体3の内底面に、11は弾性蓋体6の下面に各々設けられた突子であって、弾性含浸体7の不要な遊動を阻止している。なお、弾性蓋体6の材質としては、押圧時変形可能なように、ポリエチレン等の合成樹脂が適する。

第2図は、液状化粧料用カートリッジ体1をコンパクト型の容器13に収容した時の説明図であり、コンパクト型の容器13は、収容部14と鏡体15を設けた蓋体16とから成っている。この場合、使用に際し、合成樹脂フィルム12を開封した後は、弾性蓋体6の上面にカバーあるいはスポンジ・パフ等を置くように構成すれば、携帯時の液状化粧料の漏出および、乾燥等を防止することが可能である。

本考案に係る液状化粧料用カートリッジ体1は、上記した構成であるから、この場合の使用方



法としては、コンパクト型容器 1 3 の蓋体 1 6 を開蓋し、合成樹脂フィルム 1 2 を剝離する。次に手指あるいはスポンジ・パフ等の塗布体により弾性蓋体 6 の中央部すなわち通液部 9 を押圧し、これを内側に押し撓めれば、弾性含浸体 7 中に含浸されていた液状化粧料 2 が通液部 9 を通って滲出する。これを手指あるいは塗布体で擦取すれば、直ちに化粧操作に移ることができる。また弾性蓋体 6 に加えられている押圧力を解除すれば、それまで内側に撓んでいた弾性蓋体 7 が直ちにその形状を復元する。使用後は、弾性蓋体 6 の上面にカバーあるいはスポンジ・パフ等を置き蓋体 1 6 を閉蓋する。

一方、消費者が液状化粧料用カートリッジ体 1 中の液状化粧料 2 を消費し尽した場合、あるいは季節の移り変わりなどにより使用する液状化粧料を取り換えたくなった場合などは、それまでの液状化粧料用カートリッジ体 1 を収容部 1 4 から外し、新たな液状化粧料用カートリッジ体 1 を装着、収容すればよい。



以上詳述せる如く、本考案に係る液状化粧料用カートリッジ体 1 を液状化粧料の容器 13 に収容すれば、その携帯性、使用時の簡便性が従来の塊状あるいはチューブ状のものに比して遙かに優れ、しかも容器の形状を従来考えられなかった美麗なコンパクト状とすることが可能となる。さらに、本考案はカートリッジ式であるから、消費者は一旦収容体を購入した後は、液状化粧料用カートリッジ体 1 のみを必要に応じて購入するのみでよいので、従来見られた如く、化粧料を消費した後、高価な容器であっても捨てざるを得ないということもなく、省資源的観点からも優れている。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案の液状化粧料用カートリッジ体の断面図、第 2 図は本考案の液状カートリッジ体をコンパクト型容器に収容した時の説明図である。

- 1 …… 液状化粧料用カートリッジ体
- 2 …… 液状化粧料



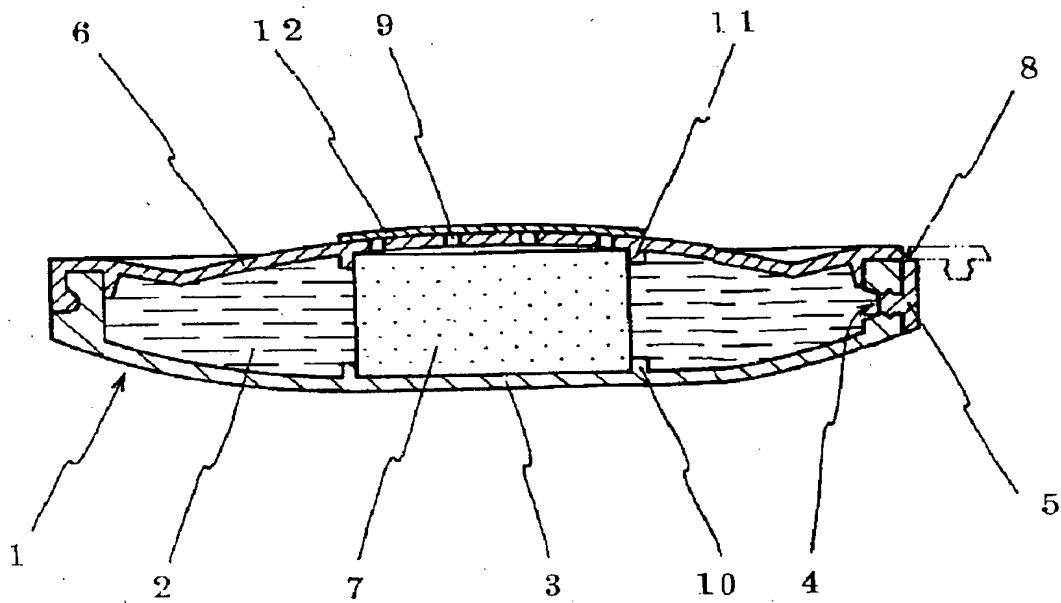
- 3 ... 容 体
- 4 ... 充 填 口
- 5 ... 閉 塞 具
- 6 ... 弾 性 蓋 体
- 7 ... 弾 性 含 浸 体
- 9 ... 通 液 部

以 上

出 願 人 株 式 会 社 小 林 コ ー セ ー

図 面

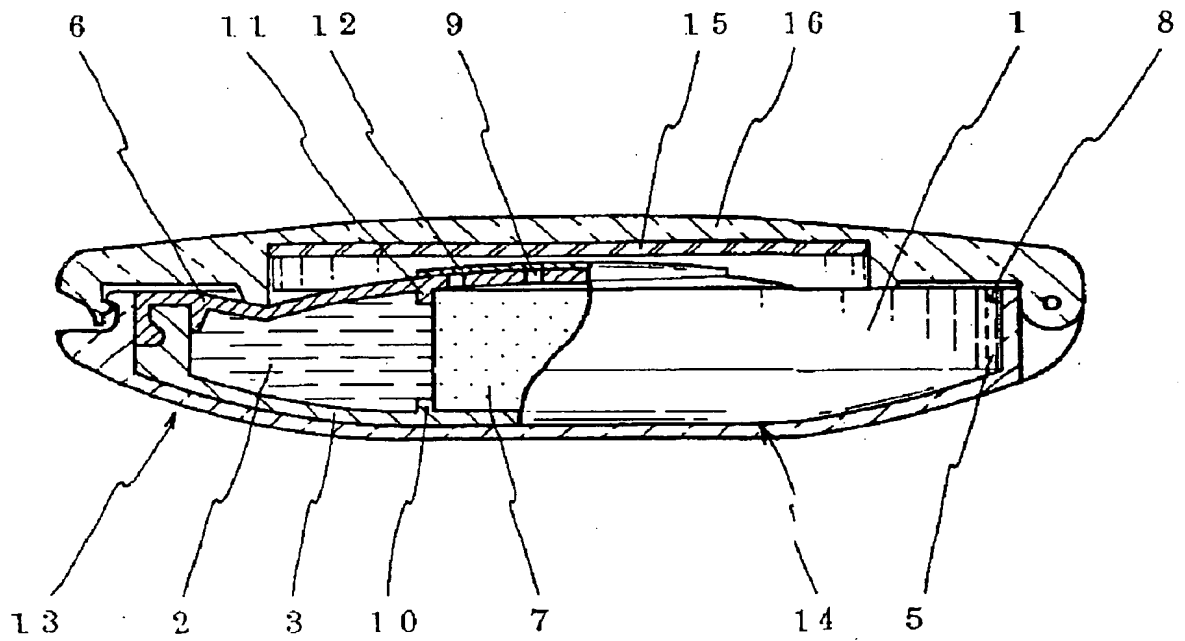
第 1 図



162

実開60-30718

第 2 図



⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-30718

⑮ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和60年(1985)3月1日

A 45 D 34/04

6671-3B

B 65 D 47/20

8208-3E

// A 45 D 33/28

6671-3B

審査請求 未請求 (全2頁)

⑰ 考案の名称 液状化粧品用カートリッジ体

⑱ 実 願 昭58-121364

⑲ 出 願 昭58(1983)8月5日

⑳ 考 案 者 多 比 羅 春 代 東京都中央区日本橋3丁目6番2号 株式会社小林コーセー内

㉑ 考 案 者 塙 富 士 雄 東京都中央区日本橋3丁目6番2号 株式会社小林コーセー内

㉒ 出 願 人 株式会社 小林コーセー 東京都中央区日本橋3丁目6番2号

㉓ 実用新案登録請求の範囲

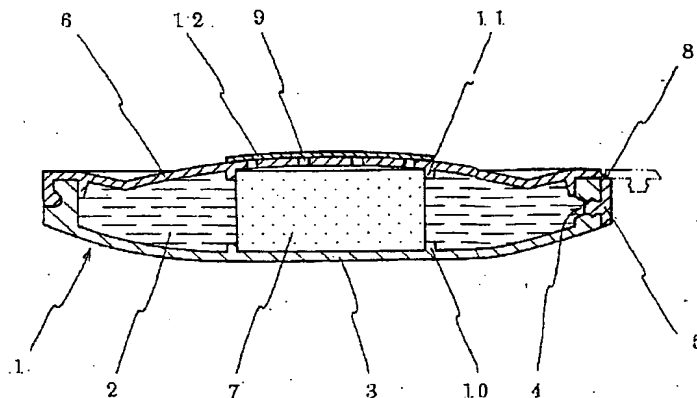
液状化粧料を容入する容体と、該容体に形設した充填口と、該充填口を閉塞する閉塞具と、前記容体内に収容され、かつ液状化粧料を含浸する弾性含浸体と、前記容体を密封するとともに、前記弾性含浸体と当接する部位に通液部を形設した弾性蓋体とから構成される液状化粧品用カートリッジ体。

図面の簡単な説明

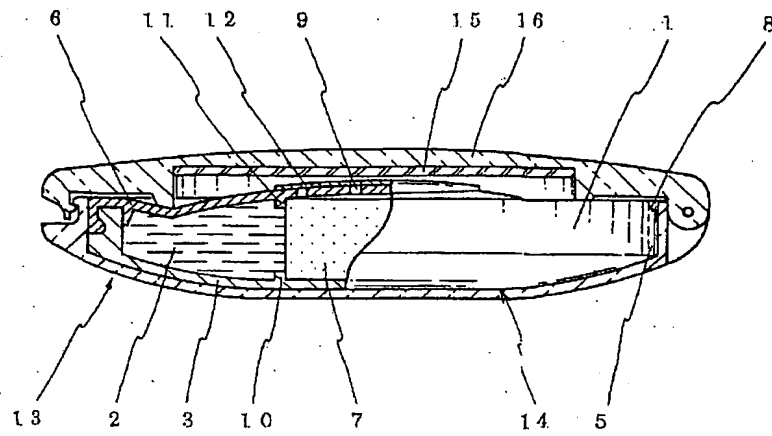
第1図は本考案の液状化粧品用カートリッジ体の断面図、第2図は本考案の液状化粧品用カートリッジ体をコンパクト型容器に収容した時の説明図である。

1…液状化粧品用カートリッジ体、2…液状化粧料、3…容体、4…充填口、5…閉塞具、6…弾性蓋体、7…弾性含浸体、9…通液部。

第1図



第2図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.